

# 「お彼岸について」

平成22年 3月 第3週目 放送

ほんじつ まひがし まにし しゅんぶん ひがん ちゅうにち  
本日3月21日は、太陽が真東から昇り、真西に沈む日、春分の日です。この春分の日をお彼岸の中  
ぜんごみっかかん ひがん  
日といい、その前後三日間を春の彼岸ということは、皆さんもご存じの通りです。

ほんじつ  
本日は、お彼岸についてお話をしたいと思います。

せんぞ はか  
お彼岸と言えば、一番にご先祖様のお墓参りを思い浮かべることと思います。

もうお墓参りに行ってきたという方、また、今日行かれるという方もいらっしゃるでしょう。

ひがん じしょ  
「彼岸」を辞書で引きますと

かわ むこ ぎし せい し うみ わた とうたつ さと せかい ねはん たいぎご しがん  
「河の向う岸。生と死の海を渡って到達する悟りの世界。涅槃。」とあります。さらに対義語として此岸

きし  
「こちらの岸」と出てきます。

およそご先祖様のお墓参りとは、直接結びつかないような内容がでていますが、

みっせつ  
実は、お彼岸とお墓参りは、密接な関係で結ばれているのです。

ひがん むこ ぎし さと ほとけ  
彼岸とは、向う岸という意味であり、悟りの世界、つまり 仏さまの世界のことです。

しがん まよ  
では、此岸こちらの岸とは、どこなのでしょう。それは、私たちのいる世界、つまり迷いの世界ということ  
す。

ぶつきょうと ほとけ くよう  
私たち仏教徒は、ご先祖様を「仏さま」としてずっと供養してまいります。

ほとけ さと ひがん とうたつ  
仏さまとは、お悟りをひらかれた方でありますから、向う岸に渡られ彼岸に到達した方であります。

まよ ぎし しがん さと ひがん とうたつ ほとけ せんぞさま した  
迷いのこちら岸つまり此岸にいる私たちが、悟りをひらき彼岸に到達した「仏さまご先祖様」を慕い、

さと おも あらた かえり  
「仏さま、ご先祖様」の悟りに思いをはせ、改めて私たちの生活を省みる。

まよ しゃかさま ぶつどうしゅぎょう さと ひら  
私たちと同じように、迷いの世界にいたお釈迦様は、仏道修行によりお悟りを開かれて仏さまとなりま  
した。

しゅぎょう  
お彼岸にお墓参りをし、「ご先祖様、仏さま」の悟りに思いをはせ、そしてお釈迦様の修行を実践する。特  
ひがん きかい  
にこのお彼岸がその機会となるのです。

是非、お彼岸中にご先祖様のお墓参りに行きましょう。